

くら・ぴあ通信

令和2年11月号(第27号)

社会福祉法人 ひと福祉会

指定通所支援事業所

くらむぼん(0826)42-2188

ぴあ・くらぶ(0826)42-1144



2学期から学校行事も再開し、徐々に元通りの生活に戻りつつあるなど実感しています。先日まで半袖で過ごしていたと思ったらみるみるうちに冷え込み、朝晩は毛布が手放せなくなってきましたね。気温差の激しいこの時期は、ますます体調管理に気をつけたいところです。



くらむぼんの日々



くらむぼん開所当初から一緒に働いていたスタッフが退職されることになり、くらむぼんでお別れ会をすることになりました。1年生のころから通っている、現在5年生のM君にそのことを伝えると、「なんでなん!」と怒りはじめました。しかし事情を話すと「しょうがないか…」と渋々納得。すぐに気を取り直して「花束を渡そう」「俺があいさつする」と、いろいろと会の案を考え始めました。そして、一通り案が出そろったとき「なんか泣きそうになっちゃった」とポロリ。普段はやんちゃなM君ですが、人とのお別れには弱いのです。当日は花束と寄せ書きを渡す役割をしてもらうことになりました。

そして当日。お別れがさみしくて活動に入れず、出番まで一人で過ごしていたM君。呼びに行くと神妙な面持ち…しかし、みんなの前に立つと立派なスピーチを披露し、花束と寄せ書きを贈呈してくれました。M君のスピーチを聞いていた子どもの中にはもらい泣きをしている子も。感動的な会になりました。



☆活動の様子☆

くらむぼん

言葉遊びの活動の一環として、宝探しゲームをしました。お手紙に書かれたヒントを手掛かりに宝物を探します。「〇〇さん(スタッフ)のわきばら」など体の部位に隠されたお手紙の中に、宝のありかが書かれています。普段意識しない体の部位に戸惑う子も。グループで相談してもわからない場合は、他のグループやスタッフに教えてもらうなど、協力して宝物を探し出しました。子どもたちに大好評。次回を心待ちにする声は今も寄せられるゲームの一つです。

ぴあ・くらぶ

10月のスマイルは、工作の活動でおかしを入れるカバン作りをしました。窓からオバケがのぞくカバン…黒猫の可愛いカバン…おばけカボチャのカラフルなカバン…どのグループもハロウィンらしく、可愛いカバンが完成しました。

10月最後の週におかしをいれてもらい、おうちに持って帰ります。活動を通して季節の行事を楽しみました♪

